

第102回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成26年4～6月期実績・平成26年7～9月期見通し)

1. 調査時点 平成26年6月2日～6月6日
2. 調査対象企業数 173社中回答173社 回答率100.0%

区分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製造業	従業員 300人以下	39	39	100.0
建設業	〃	42	42	100.0
卸売業	従業員 100人以下	7	7	100.0
小売業	従業員 50人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合計		173	173	100.0

3. 調査方法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分析方法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・DI値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (Tel. 0146-22-4100、内線621)
〒057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31番地2

全業種総合 173 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 26 年 4～6 月期）の業況判断DIは△35.3 と、前期（平成 26 年 1～3 月期）比 2.4 ポイント上昇、前年（△41.3）比では 6.0 ポイント上回った。業種別には、建設△19.0（前期△2.4）、卸売△85.7（同△85.8）、製造△33.3（同△56.4）、小売△37.0（同△41.5）、サービス業△45.1（同△45.2）となった。前期（平成 26 年 1～3 月期）調査時点での今期（4～6 月期）見通し（△33.1）を若干下回る数値となった。

売上額判断DI△22.5 は、前期比 22.3 ポイント、収益判断DI△27.7 は、同比 11.2 ポイントそれぞれ上昇した。

来期（平成 26 年 7～9 月期）の予想業況判断DIは△27.2 と、今期実績比 8.1 ポイントの改善見通しとなった。業種別にみると、製造△33.3、建設△19.0、卸売△85.7、小売△37.0、サービス△45.1 と来期を見通している。

【業種別天気図】

業種	時期	地 区 内				北 海 道	全 国
	25 年 10～12 月	26 年 1～3 月	26 年 4 月～6 月	26 年 7 月～9 月見通し	当 期	当 期	
総 合							
製 造 業							
建 設 業							
卸 売 業							
小 売 業							
サ ー ビ ス 業							

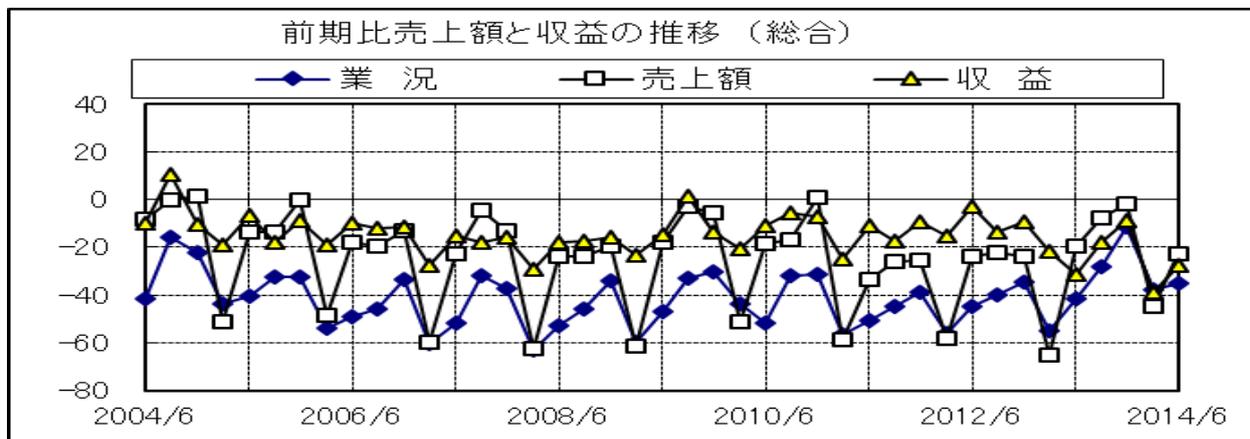
好調 ← → 低調

この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。

□ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
業 況	-11.4	-37.7	-35.3	-27.2
売上額	-1.7	-44.8	-22.5	-8.1
収 益	-8.6	-38.9	-27.7	-15.0

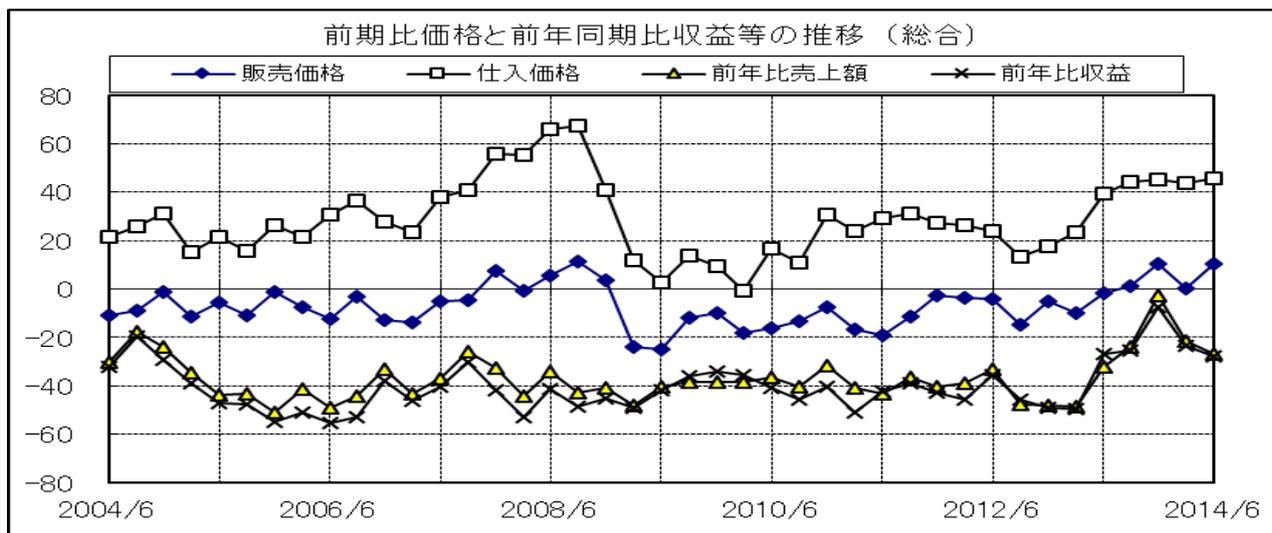
全業種総合の今期の業況判断DIは△35.3と、前期比2.4ポイント上昇した。地区別のDIは、高い順に、広尾、静内、えりも、三石、様似、浦河となった。業況判断DIは前年(△41.3)比では6.0ポイント上昇した。売上額判断DI△22.5は前期比22.3ポイント、収益判断DI△27.7は同比11.2ポイントそれぞれ上昇した。



□ 価格面、前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
販売価格	10.3	0.5	10.3	3.5
仕入価格	45.1	43.6	45.7	27.4

販売価格判断DIは10.3と、前期比9.8ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。仕入価格判断DIは45.7と、前期比2.1ポイント上昇した。販売価格、仕入価格は前年比では12.1、6.1ポイントそれぞれ上昇した。業種別にみると、販売価格は全ての業種で上昇となった。一方、仕入価格は建設で上昇基調が弱まり、卸売・小売・サービスでは上昇基調が強まった。なお製造は前期と同水準となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
残業時間	4.6	-16.2	-19.7	-6.3
人手状況	-19.4	-9.2	-5.2	-13.3

残業時間判断DIは△19.7と、前期比3.5ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断DIは△5.2と、前期比4.0ポイント上昇し、人手不足感を弱めた。

□ 設備投資の動き

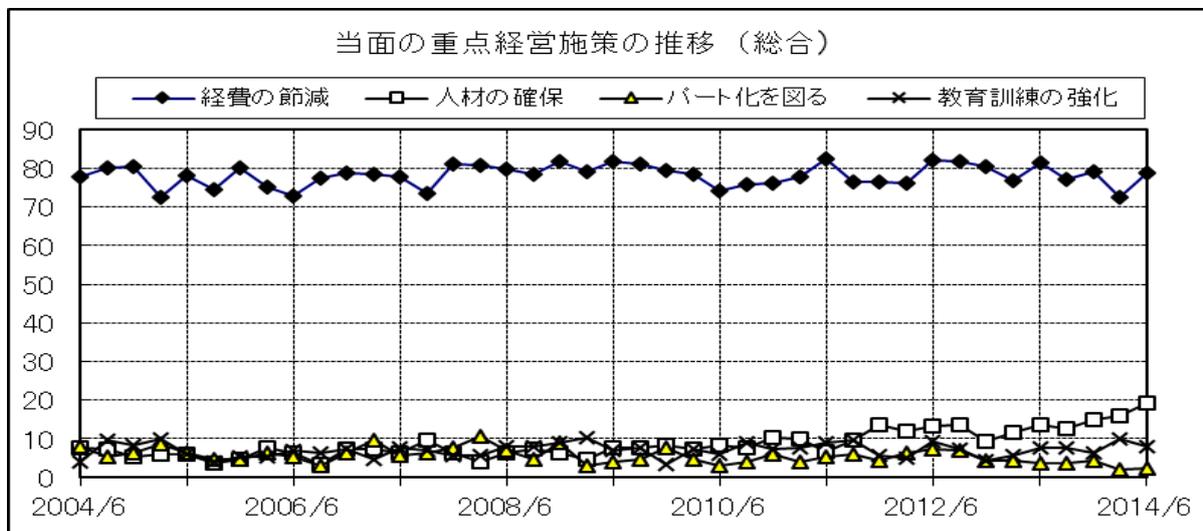
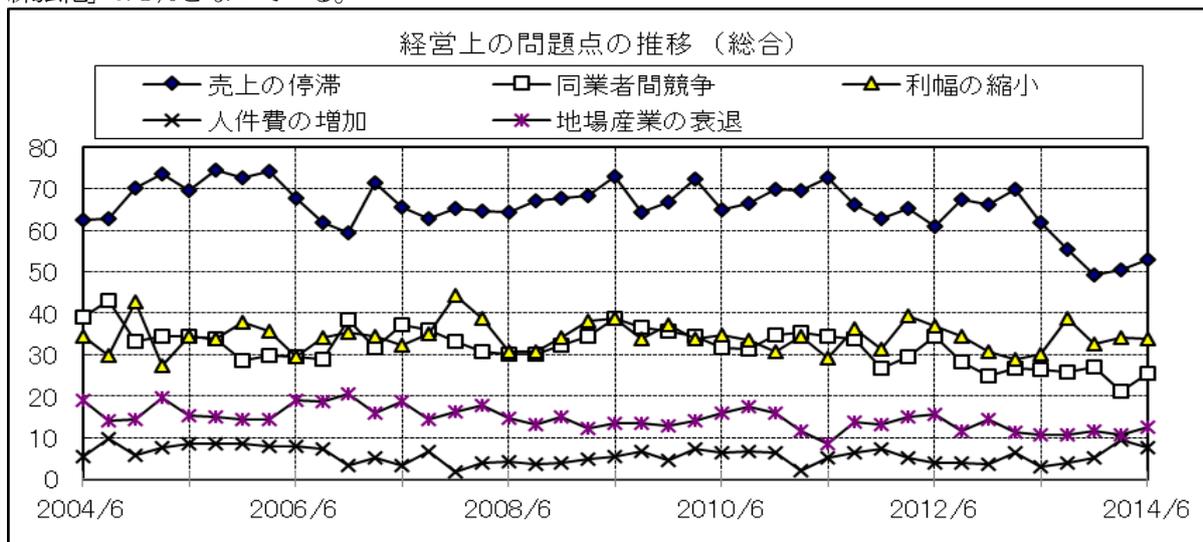
設備投資の充足感を示すD Iは△6.9と、前期比0.5ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は19.1%と、前期比2.8ポイント上昇、33社の実施となった。来期の設備投資は、30社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が53.0%で最も多く、「利幅の縮小」33.9%、「同業者との競合」25.6%、「地場産業の衰退」12.5%、人手不足・諸経費の増加が同率の10.1%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」が78.9%で突出している。次に「人材の確保」19.3%、「教育訓練強化」8.1%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△27.2と、今期比8.10ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは△8.1と、今期比14.4ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D Iは△15.0と、今期比12.7ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは3.5と、今期比6.8ポイントの下降を見通している。

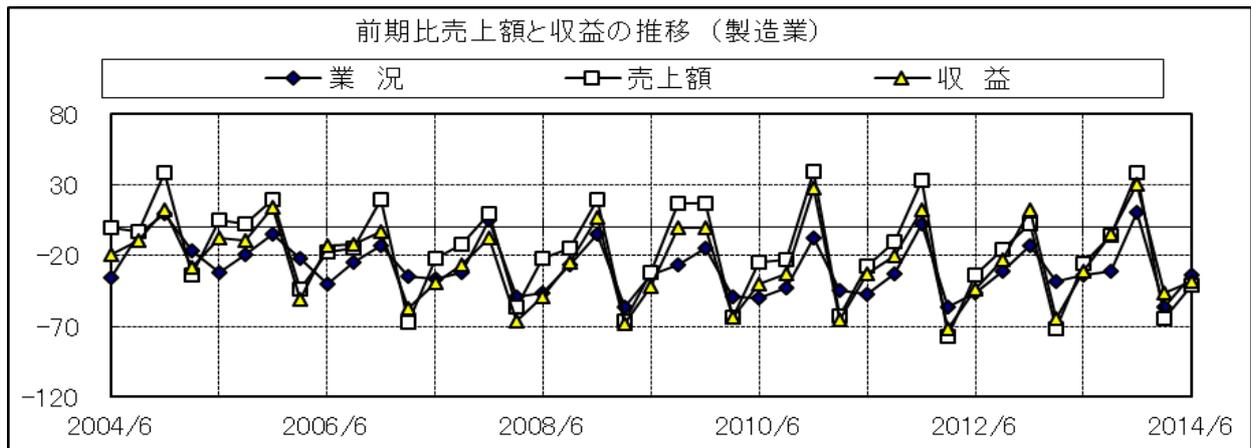
予想仕入価格判断D Iは27.4と、今期比18.3ポイント下降し価格上昇基調が弱まる見通しをしている。

製造業 39 企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
業 況	10.3	-56.4	-33.3	-12.8
売上額	38.5	-64.1	-41.0	7.7
収 益	30.8	-46.1	-38.5	-5.2

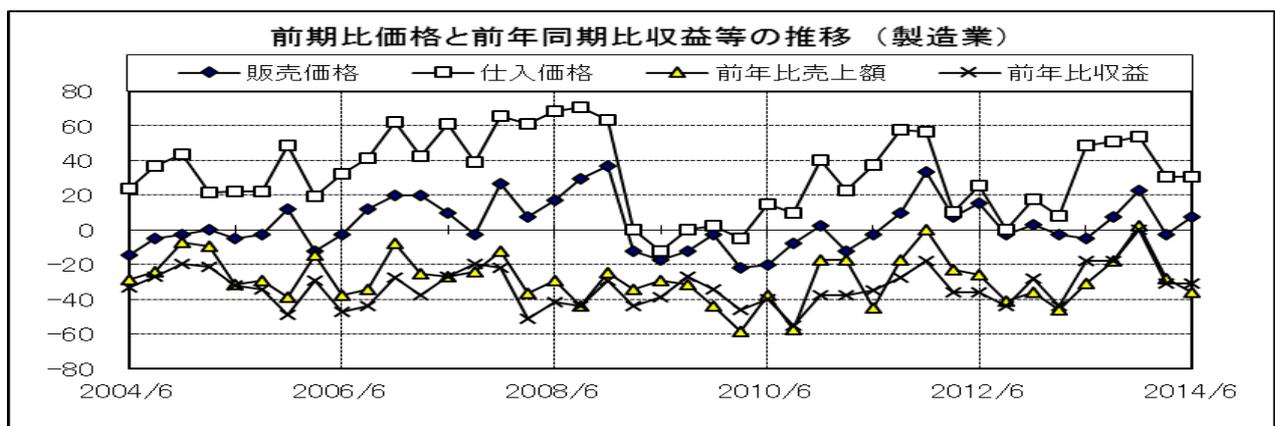
今期の業況判断DIは△33.3と、前期比23.1ポイント上昇した。地区別のDIは、高い順に、広尾、浦河、えりも、様似、静内、三石となっている。前年(△33.4)比では今期とほとんど同様の水準となった。売上額判断DIは△41.0、前期比23.1ポイント上昇、収益判断DIは△38.5と同比7.6ポイント上昇し、ともにマイナス幅は縮小した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
販売価格	23.0	-2.5	7.7	-2.6
仕入価格	53.8	30.7	30.7	23.0

販売価格判断DIは7.7と、前期比10.2ポイントの上昇となった。また、仕入価格判断DIは30.7と、前期横ばいの水準。業種別にみると、食品は販売価格が上昇、木材は横ばいとなった。仕入価格では食品が上昇、木材では上昇基調が弱まった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月 期見通し
残業時間	12.8	-25.6	-20.5	0.0
人手状況	-15.4	7.7	-7.7	-10.3

残業時間判断DIは△20.5と、前期比5.1ポイント上昇し、残業時間「減少」企業の割合が減少した。

人手過不足判断DIは△7.7と、マイナス値に転じ前期比15.4ポイント下降、人手「不足」超となった。

□ 設備投資の動き

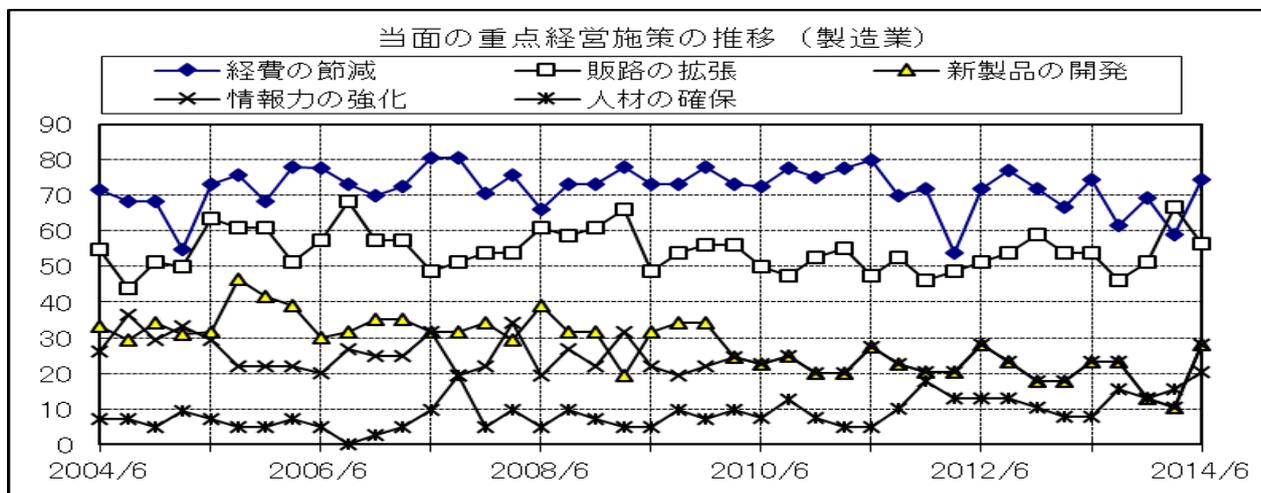
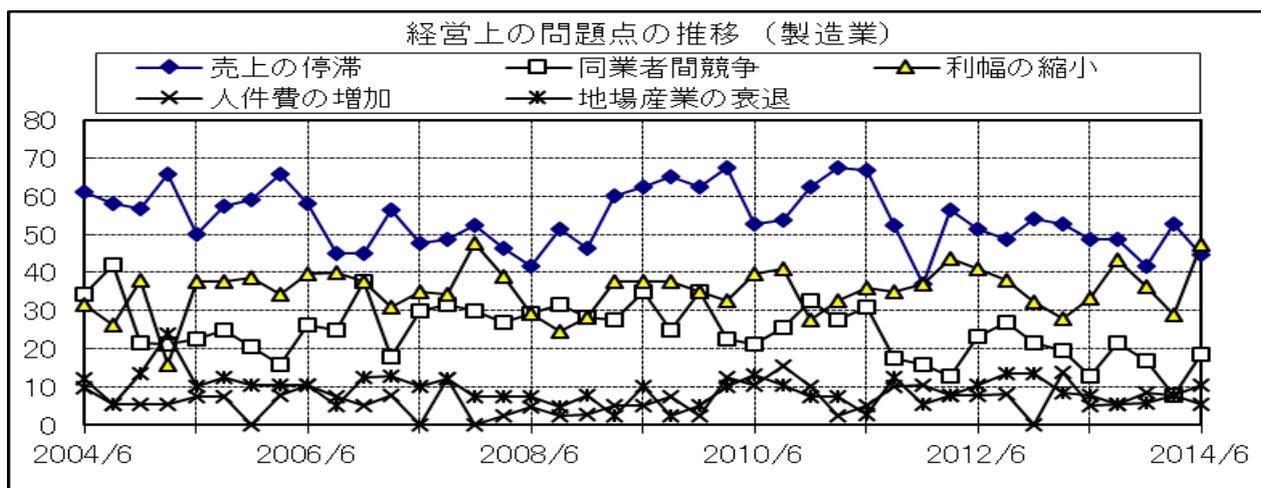
設備投資の充足感を示すD Iは△7.8と、前期比5.0ポイント上昇した。設備投資実施企業割合は20.5%と、前期比5.1ポイント上昇。前期の6社に対し8社の実施となった。

来期の設備投資は、今期と同数8社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅の縮小」、「原材料高」をトップに挙げ同率の47.4%、次いで「売上停滞減少」が44.7%、「同業者との競合」18.4%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節約」をトップに挙げ74.4%、次いで「販路を広げる」56.4%、「情報力を強化する」28.2%、「新製品を開発する」25.6%が続いている。また、人材を確保するが20.5%あった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△12.8と、今期比20.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D I 7.7は、今期比48.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益D Iは△5.2と、今期比33.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは△2.6と、今期比10.3ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D Iは23.0と、今期比7.7ポイント下降し、価格上昇基調がやや弱まる見通し。